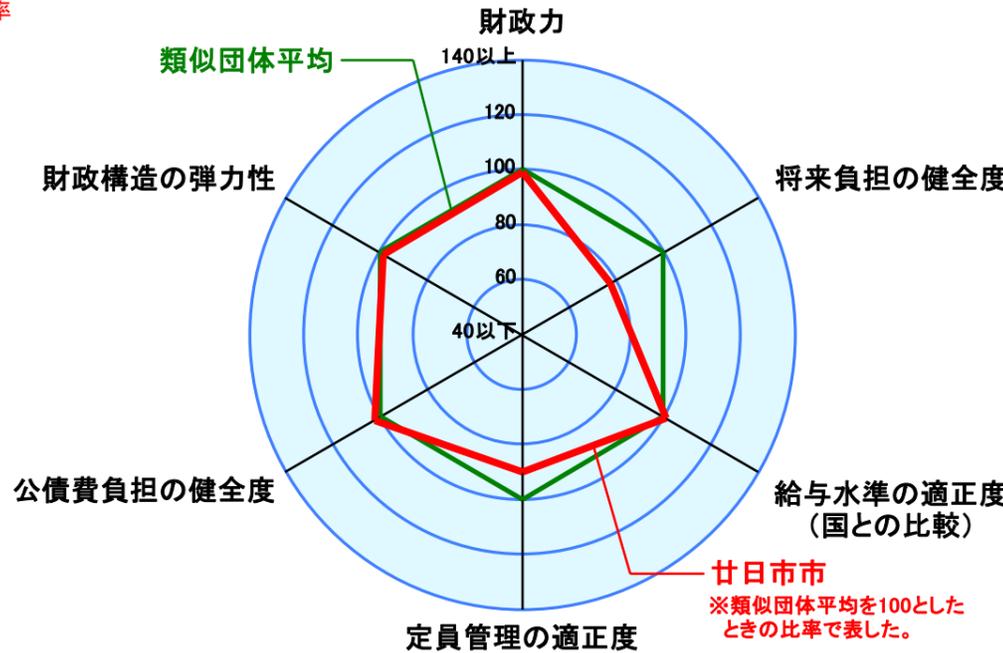
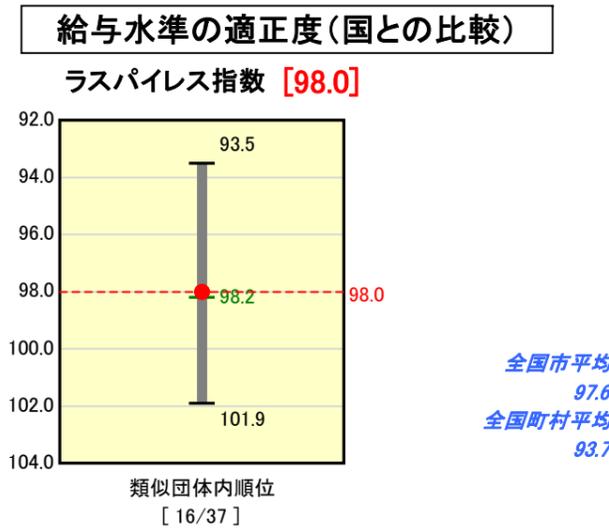
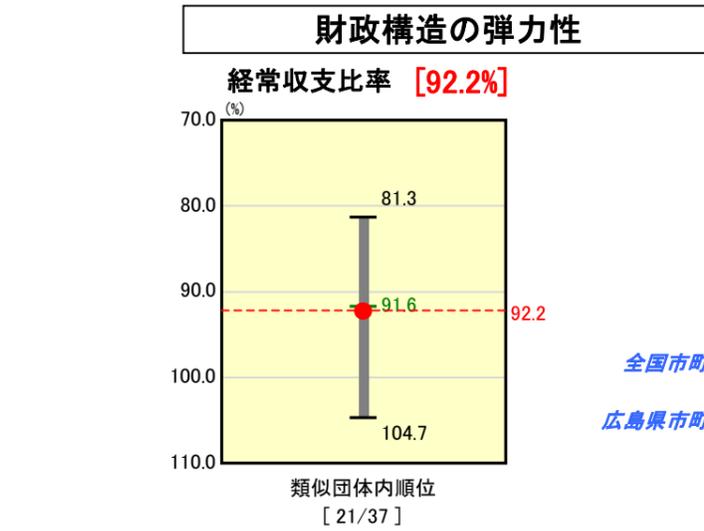
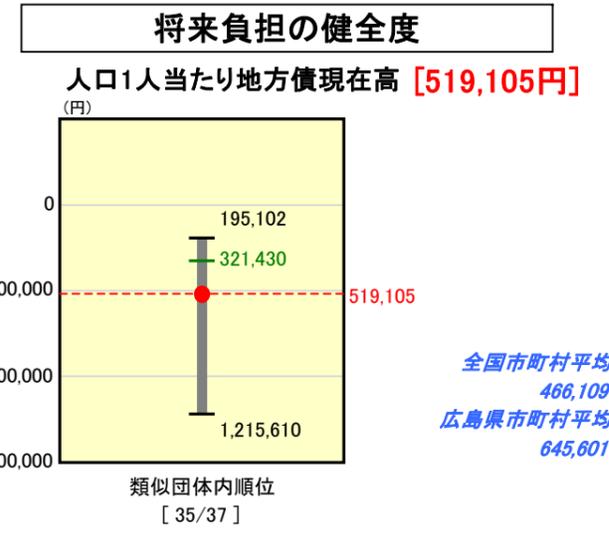
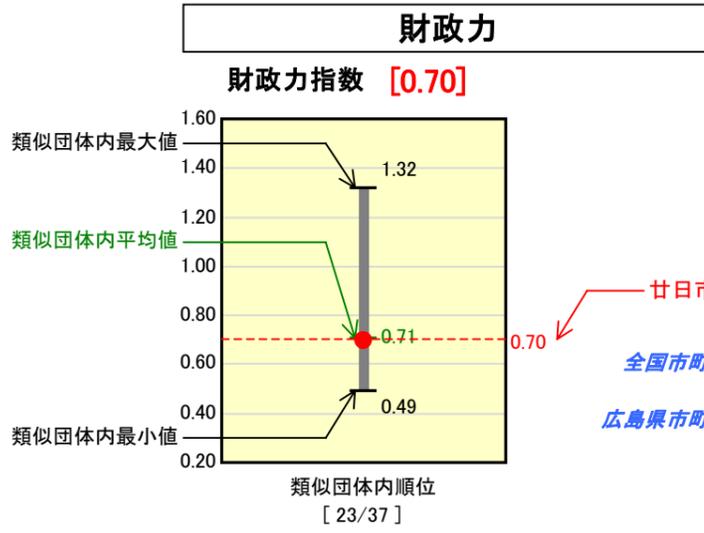


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

広島県 廿日市市

人口	89,051人(H17.3.31現在)
面積	388.22 km ²
歳入総額	31,137,231千円
歳出総額	30,616,357千円
実質収支	458,865千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【財政力指数】
・ここ3年間で連続した伸びを見せ0.70となっているが、類似団体平均を下回っている。今後は、平成17年3月に策定した「収納対策アクションプラン」に基づき収納率の向上に努めるとともに、合併効果による行政の効率化を図り、財政の健全化に努める。

【経常収支比率】
・平成16年度においては、「三位一体の改革」の影響などで前年度より大幅に悪化した(△7.1ポイント)。また、類似団体平均をやや上回っており、平成18年度に策定予定の「集中改革プラン」の中で、適正な定数管理に基づく人件費の削減及び計画的な繰上償還による公債費の抑制など、行財政改革への取組を通じて義務的経費の削減に努める。

【起債制限比率】
・類似団体平均をやや下回っているが、近年、合併建設計画事業の推進により増加の兆しが見られる。これまで15年償還を基本としていた本市の銀行等引受債について、世代間負担の公平化と公債費負担の中長期的な平準化の観点からこれを見直し、適正な償還期間の設定、借換制度の検討などにより、公債費の更なる平準化及び起債制限比率の上昇を抑える。

【人口1人当たり地方債現在高】
・合併建設計画事業の推進により発行額が増加し、類似団体平均を大幅に上回っている。将来的に持続可能な財政運営を行うため、新規発行債の抑制を行うとともに計画的な繰上償還により、起債残高の抑制に努める。

【人口1,000人当たり職員数】
・類似団体平均を1.37人上回っている。これは市町村合併による一時的なものであるが、引き続き退職者補充の抑制等により適正化に努める。

